

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	所沢市	地区名	所沢駅周辺地区			面積	33.0ha				
交付期間	令和元年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和7年度6月	交付対象事業費	973百万(国費389百万)	国費率	40%						
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設 人工地盤等(ペDESTリアンデッキA、C)										
		提案事業	事業効果検証										
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業											
	新たに追加し た事業	基幹事業											
		提案事業											
	交付期間 の変更	当 初			交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響								
	変 更												
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	指標1	地区内回遊者数	人/h	12,670人/h	H28	37,000人/h	R5	16,329人/h	△	あり	○	所沢駅西口地区への来訪者は増加したが、想定していた回遊ルートである北側のデッキを歩行する歩行者が想定に達していない(駅から新規開業の商業施設への直線ルートは増えている)。理由として、北側のデッキは駅前広場の地上部を経由するが、人が回遊したり集まったりするための取り組みが本格化していないことが考えられる。	
										なし			
	指標2	歩行時間	秒	616秒 (10m16s)	H30	526秒 (8m46s)	R5	484秒 (8m4s)	○	あり	ベDESTリアンデッキ等歩行空間の整備により、歩行時間が短縮され利便性・安全性が向上した。		
	指標3									あり			
	指標4									あり			
	指標5									あり			
	3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)
その他の 数値指標1 その他の 数値指標2 その他の 数値指標3													
4)定性的な効果 発現状況													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング						都市再生整備計画に記載し、実施できた						
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	官民連携による 取組						都市再生整備計画に記載し、実施できた						
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり 体制の構築						都市再生整備計画に記載し、実施できた							
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

所沢駅周辺地区（埼玉県所沢市）都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
<p>所沢駅周辺地区におけるまちづくりの将来像である「市の表玄関にふさわしい魅力と活力あふれる新生活拠点」として、様々な多くの人が集まり、楽しく行き交い、また安心してくらすことのできるまちを実現するため、計画的な土地利用誘導と市街地開発事業を推進する。</p> <p>目標：所沢駅周辺を結ぶ歩行者ネットワークの形成による、まちの利便性・回遊性の向上</p>		地区内回遊者数	単位：人/h	12,670	H28	37,000	R5	16,329	R6
		歩行時間	単位：秒	616(10m16s)	H30	526(8m46s)	R5	484(8m4s)	R6
			単位：		H		R		R
			単位：		H		R		R
			単位：		H		R		R

基幹事業
地域生活基盤施設
ペDESTリアンデッキA
整備位置：[red line]

基幹事業
地域生活基盤施設
ペDESTリアンデッキC
整備位置：[red line]

提案事業
事業活用調査
事業効果検証
歩行者交通量調査：7箇所

関連事業
市街地再開発事業②

関連事業
市街地再開発事業①

関連事業
駅施設再整備＋
民間施設整備（商業施設）

関連事業
民間施設整備（デッキ）

関連事業
ペDESTリアンデッキB

関連事業
民間施設整備（商業施設）

関連事業
土地区画整理事業

凡 例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

1,000m

まちの課題の変化	2つのペDESTリアンデッキを整備したことにより、所沢駅周辺を結ぶ歩行者ネットワークが形成され、利便性・回遊性が向上した。また、歩行空間が整備されることにより、歩行時間が短縮され利便性・安全性が向上した。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		○			
B. 目標を定量化する指標		○			
C. 目標値		○			
D. その他()		○			

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	ペDESTリアンデッキA.C	1,157	ペDESTリアンデッキ新設 情報板整備	965	ペDESTリアンデッキ新設	情報板整備の削除	所沢駅西口地区への来訪者は増加したが、想定していた回遊ルートである北側のデッキを歩行する歩行者が想定に達していない(駅から新規開業の商業施設への直線ルートは増えている)。理由として、北側のデッキは駅前広場の地上部を経由するが、人が回遊したり集まったりするための取り組みが本格化していないことが考えられる。	○	
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		

添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
															あり	なし
指標1	地区内回遊者数	人/h	R7.3.23に歩行者交通量調査を実施。調査結果を基に算定。			12,670人/h	H28	37,000人/h	R5	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み	○	16,329人/h	事後評価	△	
指標2	歩行時間	秒	所沢村山線沿いにある金融機関(地方銀行前)から所沢駅中央改札口までの歩行時間。			616秒 (10m16s)	H30	526秒 (8m46s)	R5	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み	○	484秒 (8m4s)	事後評価	○	
指標3										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	所沢駅西口地区への来訪者は増加したが、想定していた回遊ルートである北側のデッキを歩行する歩行者が想定に達していない(駅から新規開業の商業施設への直線ルートは増えている)。理由として、北側のデッキは駅前広場の地上部を経由するが、人が回遊したり集まったりするための取り組みが本格化していないことが考えられる。	
指標2	ペDESTリアンデッキ等歩行空間の整備により、歩行時間が短縮され利便性・安全性が向上した。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2ー② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
	単位				基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2ー参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況